Parametric Revising Tools

Parametricos

ユーザーマニュアル

推奨システム構成

Macintosh/Windowsにて、下記バージョンのAdobe Illustratorが正常に動作する環境Adobe Illustrator : ２０２０,２０２１

Auto-generate Your Graphics
BABY UNIVERSE

使用条件

※Parametricos をご使用頂くにあたりまして、下記の項目にご同意頂く事が必須条件となっておりますので、ご使用頂く前には必ずこの条件をお読み頂きますようお願い申し上げます。
またご使用に際しましては、下記の条件にご同意頂いたものと致しますのでご注意願います。

1.ライセンス（サブスクリプション型ライセンス）
１年単位でご使用料をお支払いただくことで製品をご利用頂けます。１年の契約期間を過ぎると製品は使用できなくなりますので、契約更新の後、引き続きご利用が可能となります。
尚、ライセンスポリシーは1ライセンス１ユーザー（Illustratorライセンス）です。Illustratorとプラグインのライセンスのユーザーは同一とし、そのユーザーのみ複数のコンピュータにプラグインをインストールし、２台までライセンス認証することが出来ますが、一度に１台のコンピュータでのみ使用可能です。
従いましてそれ以外の使用は、法律に反し、場合によっては損害賠償をして頂く可能性がございますので、予めご注意願います。

2ご利用上の保証
Parametricosは、イラストレータで作成されたオブジェクトを制御したり、補正したりする事ができる大変便利なツールですが、それらの作業結果を保証するモノではございません。
あくまでもお客様のご責任の範疇でのご使用とさせて頂きますので、予め御了承下さい。

3著作権
本ソフトウェアの著作権に関しましては、使用許諾書をご確認下さい。

インストール

Macintosh 版

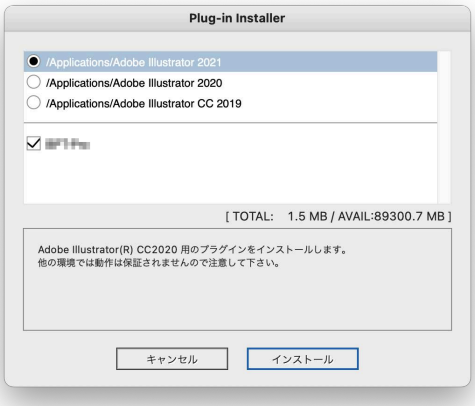
Installer

Windows 版

Setup.exe

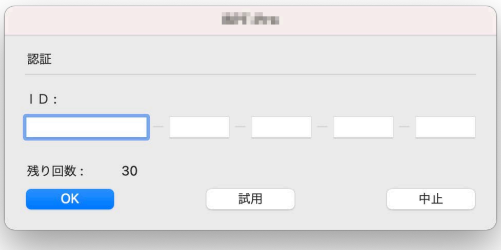
BPT-Proを開くと左図のようになっています。
“Installer” 又は“Setup.exe” を ダブルクリックして インストーラを 起動してください。

最初のインストーラの画面が立ち上がったら、「開始」ボタンを押してください。すると左図のような画面となります。インストーラが自動的に適切なディスクを探しますが、目的のイラストレータが別のディスクに入っている場合などは「ディスクを変更」ボタンで変更してください。適切なディスクが選択されたら「続行」をクリックしてください。

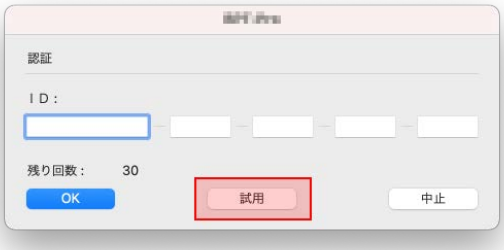


次に、左図のような画面になります。インストーラが、お使いのコンピュータのディスクにインストールされているすべてのイラストレータを自動的に探しますので、インストールしたいバージョンを選択してください。
「インストール」をクリックすると、インストールが始まります。

ライセンス認証

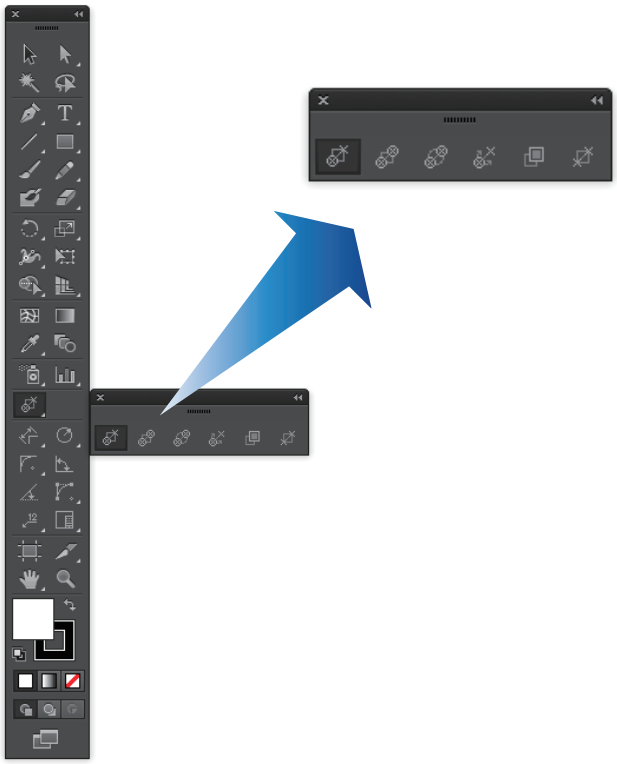


プラグインのツール（機能）を最初に使用する際、左図のような認証ダイヤログが出現します。メールで通知されたIDを入力したら、”OK”ボタンを押して下さい。
以上でライセンス認証は終了です。



◇デモ版での試用について
デモ版で試用する場合は、"試用"ボタンを押して下さい。通常と同機能で残り回数試用できます。

Parametricos の構成ツール



Parametricos は、イラストレータのツールボックスに格納される”6 種の Parametricos”と、ウィンドウメニュー /Parametricos/ に入っている、”Parametricos Information パレット” と” Parametricos Variable パレット”で構成されています。

”6 種類の Parametricos”

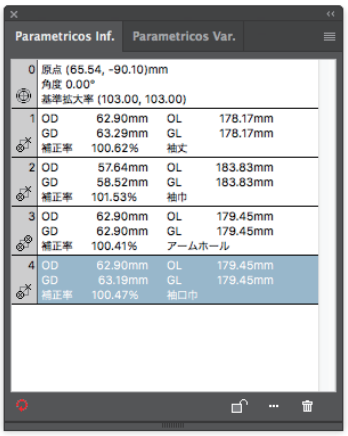
Parametricos は、

- 距離補正ツール
- 長さ補正ツール
- 円弧補正ツール
- 角度補正ツール
- ポイント補正ツール
- 計測ツール

の6種類のツールで構成されます。
変数によるオブジェクトの制御や補正は、基本的にこれらのツールで行い、これらの各ツールを複合的に使い分ける事により、複雑な制御や補正が可能です。

”Parametricos Information パレット”

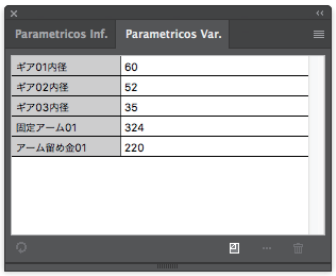
略して、Parametricos Inf. パレットは、
基本(原点位置、角度、拡大率)設定の他に、6 種の補正ツールと連動し、各補正設定を詳細に行う事ができるようになっています。これら詳細設定を、各ツールのハンドル情報と呼び、略してハンドルと呼びます。
また、変数によるオブジェクトの制御の際に必要となる、これらハンドル情報のセット(プリセット)を自在に保存できます。これらプリセット名で、各プリセット情報を管理し、1 度に複数のプリセットによる展開が行えます。



Parametricos Inf. パレット

”Parametricos Variable パレット”

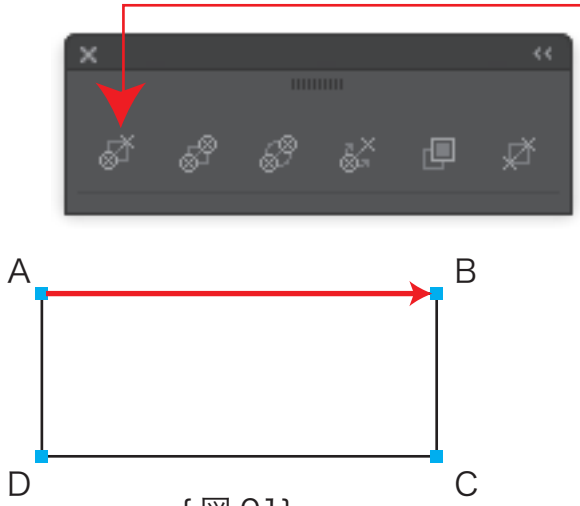
略して、Parametricos Var. パレットは、
主に変数を設定する事ができます。
また、数値だけではなく、計算式も設定できます。
四則演算の加算 (+)・減算 (−)・乗算 (×)・除算 (÷) は勿論の事、複雑な各種関数を使えます。これにより、変数との連動により複雑に変化するあらゆる補正値を制御する事ができます。



Parametricos Var. パレット

Parametricos の各ツールの説明 Vol.1

※各ツールをオンにする為には、必ず目的のオブジェクト（またはグループ）を選択し、いずれかの Parametricos Tools を選択する必要があります。



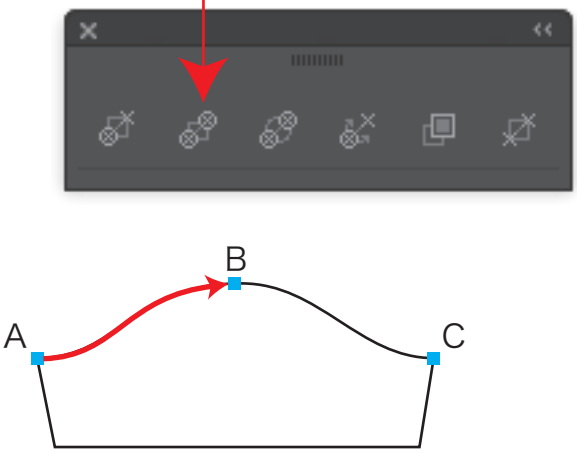
{図 01}

■距離補正ツール

距離補正ツールは2点間の距離を、任意の距離に補正する為のツールです。{図 01} のように、頂点 A から頂点 B に向けてドラッグし、線分 AB を選択します。線分 AB の値を設定するには、連動して出来る”Parametricos Inf. パレット” 中の距離補正ハンドルをダブルクリックして、その設定値を入力します。

基本的には頂点から頂点の距離を補正する為のツールですので、両方に頂点がある事が望ましいのですが、片方にだけ頂点がある場合でも、その頂点の方を設定した距離に従って移動し、距離補正をする事ができます。

また、線分 AB の距離を任意の距離に設定し、点 B を動かす場合、同時に同じ移動距離だけ点 C を同じ方向に移動させたい時には、オプションキーを押しながら、点 C をクリックするか、マーキーによる選択をします。
この時、同じように他の点もオプションキーを押しながら選択すれば、複数の頂点の移動が可能です。



{図 02}

■長さ補正ツール

長さ補正ツールは曲線を、任意の長さに補正する為のツールです。
{図 02} のように、頂点 A から頂点 B までドラッグし、線分 AB を選択します。
この線分 AB の長さを設定するには、連動して出来る”Parametricos Inf. パレット” 中の長さ補正ハンドルをダブルクリックして、その設定値を入力します。

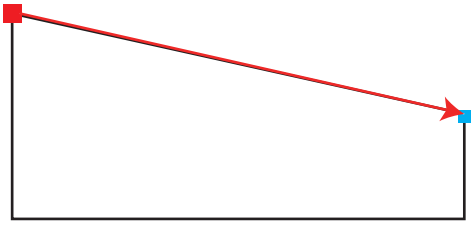
長さ補正は曲線のみ有効となります。その際の補正ルールは、イラストレータ側のベジェ曲線のハンドルの長さだけを調整し、ハンドルの角度や拡張点の位置は動かさず、指定寸法の通り曲線の長さを補正します。

Parametricos の各ツールの説明 Vol.2

{ 図 03}

■円弧補正ツール

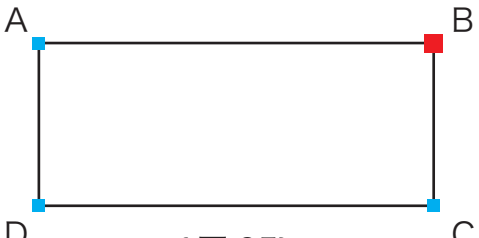
円弧補正ツールは、任意の円弧の大きさ(半径)を補正する為のツールです。{ 図 03} のように、円弧をドラッグで選択します。
この時、必ず円弧 (円の 1 部) になっている必要があり、自由曲線には未対応となります。
また半径が 1 ミリ以下の小さな円弧はその誤差から自由曲線となる場合がありますので、ご注意下さい。



{ 図 04}

■角度補正ツール

角度補正ツールは、傾斜部分などの角度を補正する為のツールです。 {図04} のように、ツールを任意の頂点から傾斜部分に沿ってドラッグすると、そのドラッグした線を基準に角度の変化量を調整することができます。
この時、はじめに必ず頂点を選択する必要があります。



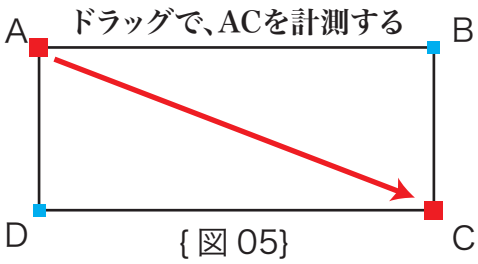
{ 図 05}

■ポイント補正ツール

ポイント補正ツールは、任意の頂点の位置を補正する為のツールです。{ 図 04} のように、頂点 B を選択します。
頂点 B を現在の位置から、または、拡大後の位置から X 軸 (横方向) と Y 軸 (縦方向) に正確に移動させる事ができます。

また、頂点 B を選択し、点 C を同時に同じ移動距離だけ同じ方向に移動させたい時には、オプションキーを押しながら、点 C をクリックするか、マーキーによる選択をします。
この時、同じように他の点もオプションキーを押しながら選択すれば、複数の頂点の移動が可能です。

Parametricos の各ツールの説明 Vol.3



{図 05}

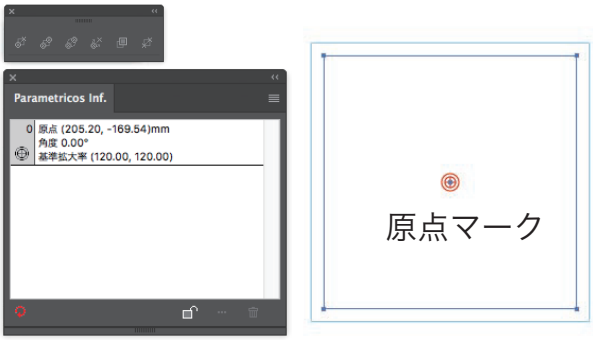
計測データは”Parametricos Var.”に入る

■計測ツール

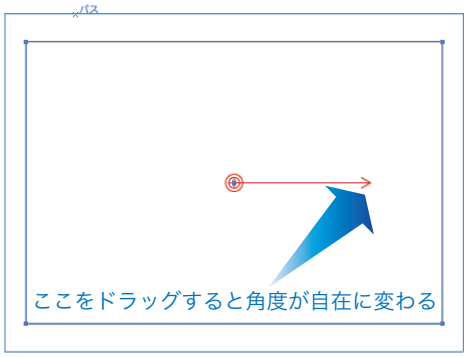
計測ツールは距離や長さ、および角度を計測する為のツールです。
勿論、単純に計測する為に利用できますが、計測ツールで計測された、距離や長さ、および角度を、他の補正ツールで使用できるようにする為、計測した直後に、”Parametricos Var.”に記録されます。

基本的には頂点から頂点までの距離や長さ、および角度を計測する為のツールですが、他のツールと違い頂点がなくても計測可能です。
ただし、その時は、距離および角度のみの計測となり、長さは計測できません。

Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.1



{図 01}



{図 02}

※パレットに表示される各情報リストは、ハンドルまたはハンドル情報と呼びます。各ハンドル情報をダブルクリックすると、各ハンドル設定画面が出ます。

■基本設定

Parametricos および各情報リストの基本となるのが、この基本設定です。
基本設定で、設定するのは以下になります。

・基準点設定（原点）

いわゆる原点です。この原点は Parametricos が補正を行う上で最も重要な基準点となります。基準点の位置はイラストレータ上の原点位置を基準として、その絶対位置【X 軸と Y 軸の位置】で記載されます。
これらは数値での設定も可能ですが、直感的に移動したい場合は、{図 01} のようにオブジェクトに表示されている原点マークをドラッグで移動します。この時に各頂点や線分上に来ると、カーソルが変化します。
また、動かない場合には、パレット上のロックボタンが解除されているか確認して下さい。

・角度

基準拡大率が 100%(等倍) 以外の設定で、且つ、縦横比固定チェックが外れている時に有効です。
角度は数値での設定も可能ですが、{図 02} のように矢印の先端をドラッグすると角度を直感的に変える事ができます。この時の矢印の長さに意味はありません。

・基準拡大率

基準拡大率を設定できます。縦横の拡大率を変更したい場合は、縦横比固定チェックをはずし、H(横)、V（縦）に任意の倍率を設定します。基本拡大率は最後に設定した内容が、次回にも適用されます。

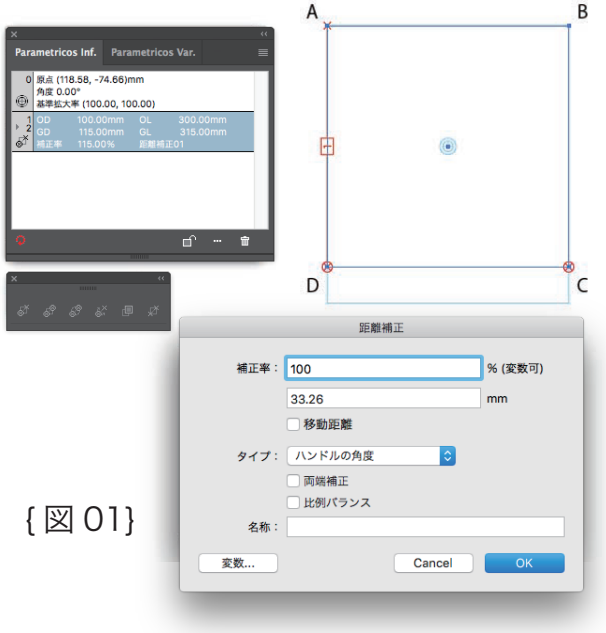
・編集縮尺

製図の縮尺を、変えたい場合に使用します。例えば [1/10] などの縮尺で製図をしている場合には、10%に設定します。

・名称

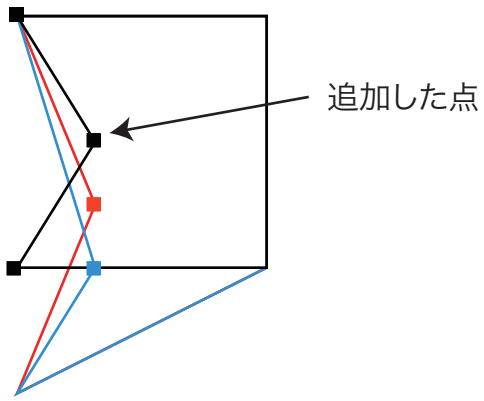
現在選択されているオブジェクト（またはグループ）に名称をつける事ができます。

Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.2



{図 01}

※ハンドル情報リスト中に記載の記号は以下を表す
OD=元の距離
OL=元の長さ
GD=変更後の距離
GL=変更後の長さ



{図02}
赤線：比例バランス ONの場合
青線：比例バランス OFFの場合

■距離補正ハンドル情報
{ 図 01} は、Parametricos の距離補正ツールを四角形の線分 AD に適用し、オプションボタンにて、点 C をグループ化しています。
この時、Parametricos Inf. にリスト表示された、距離補正ハンドル情報をクリックすると、距離補正の各種設定ができる距離補正ハンドル設定ダイヤログがでます。
図形は単純な正方形で、一辺は 100mm、基準拡大率も 100%(等倍) に設定されています。

・補正率
基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の距離を % で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。

・mm
基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の距離を mm で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。
「移動距離」にチェックを入れた状態では、mmに入力した数値の分だけ移動距離を増減できます。

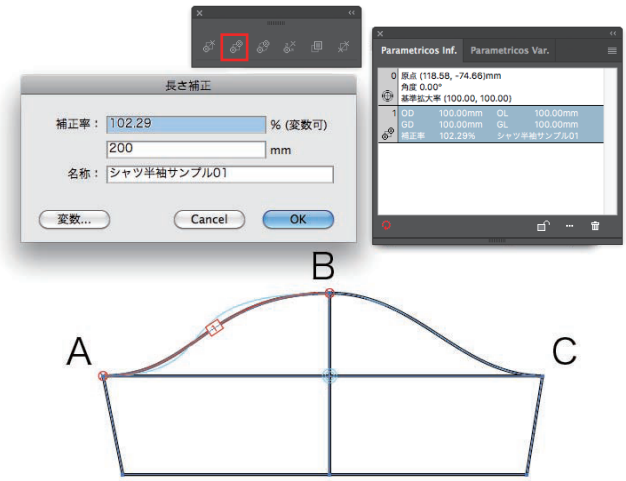
・タイプ
距離補正を動かす方向を設定します。
基本は距離補正ツールで指定した” ハンドルの角度” を通常使用しますが、” 水平方向”、” 垂直方向”、” グレーディングの方向”等も選択できます。
また、計算ツールで Parametricos Var. に入った角度の値を用いる事も可能です。

・両端補正
上記タイプで選択した方向上で、その両端報告に振分けて両端点を移動させる事ができます。その振り分けの分量は、原点からの距離に等しくなります。

・比例バランス
オプションを押しながら任意の点をクリックして追加し、比例バランスにチェックを入れると、相似形になるようにその点が自動的に補正されます。（図02参考）

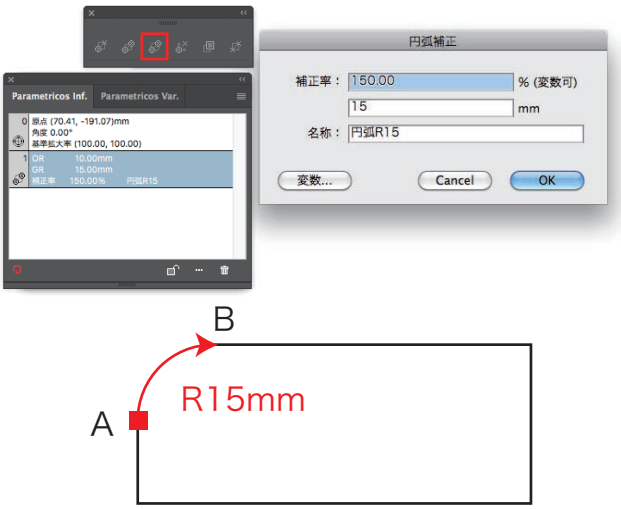
・名称
現在設定している距離補正のハンドル名を設定できます。

Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.3



{図 01}

※ハンドル情報リスト中に記載の記号は以下を表す
OD=元の距離
OL=元の長さ
GD=変更後の距離
GL=変更後の長さ



{図 02}

■長さ補正ハンドル情報

{図 01} は、Parametricos の長さ補正ツールを線分 AB に適用しています。
この時、Parametricos Inf. にリスト表示された、長さ補正ハンドル情報をクリックすると、距離補正の各種設定ができる長さ補正ハンドル設定ダイヤログがでます。図形は、基準拡大率 100%(等倍) に設定されています。

・補正率
基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の長さを % で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。

・mm
基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の長さを mm で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。

・名称
現在設定している長さ補正のハンドル名を設定できます。

■円弧補正ハンドル情報

{図 02} は、Parametricos の円弧補正ツールを頂点 A,B に適用しています。

・補正率
基準拡大率適用後（図 02 の場合は 150%）の長さを % で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。

・mm
基準拡大率適用後（図 02 の場合は 150%）の長さを mm で設定します。また、こちらには Parametricos Var. で設定した変数も適用できます。

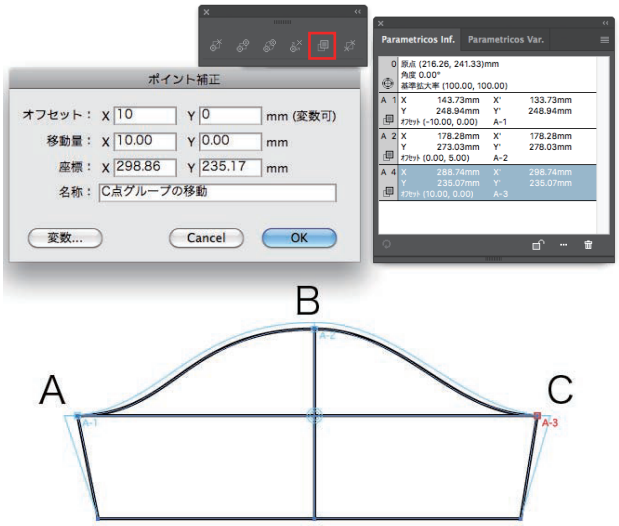
・名称
現在設定している円弧補正のハンドル名を設定できます。

■角度補正ハンドル情報

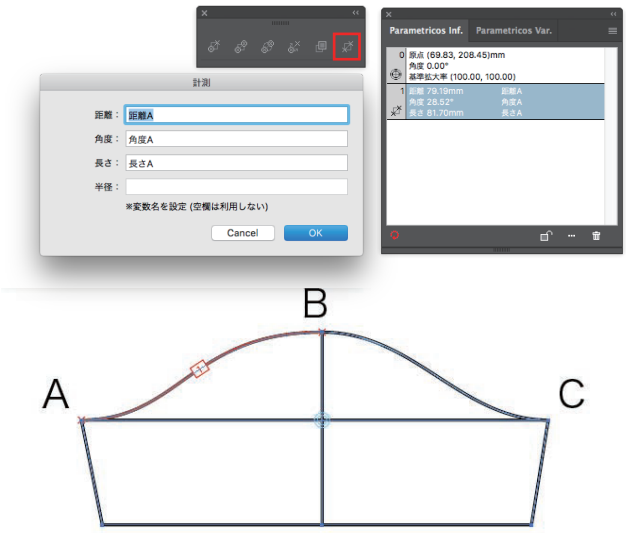
・補正角度
角度の変化量を設定します。また、こちらには Parametricos Var.で設定した変数も適用できます。

・名称
現在設定している角度補正のハンドル名を設定できます。

Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.4



{ 図 02}



{ 図 01}

計測ツールハンドル情報

■ポイント移動ハンドル情報

{ 図 02} は、Parametricos のポイント補正ツールを頂点 A,B,C に適用しています。図形は、基準拡大率 100%(等倍) に設定されています。

・オフセット

基準拡大率適用後の移動量を X 軸方向、Y 軸方向毎に設定します。

・移動量

基準拡大率適用前の移動量を X 軸方向、Y 軸方向毎に設定します。

・座標

イラストレータの絶対座標値を X 軸方向、Y 軸方向毎に設定します。

・名称

ポイント補正のハンドル名を設定できます。

■計測ツールハンドル情報

{ 図 01} は、Parametricos の計測ツールを線分 AB に適用しています。この時、Parametricos Inf. にリスト表示された、計測ツールハンドル情報をクリックすると、計測の各設定がでます。図形は、基準拡大率 100%(等倍) に設定されています。

・距離

基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の距離を測定し、名称を入力します。距離 A など名称はデフォルトで自動的に挿入されます。また、この計測距離は Parametricos Var. に自動的に渡します。

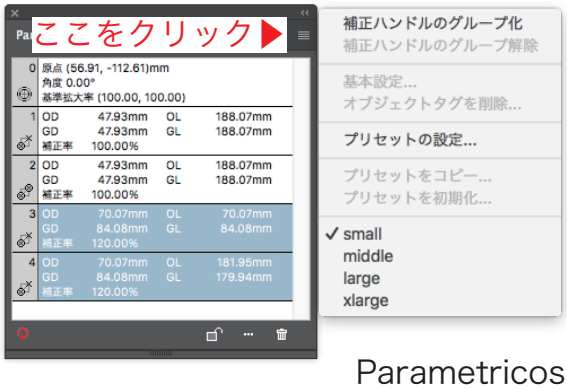
・角度

基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の角度を測定し、名称を入力します。角度 A など名称はデフォルトで自動的に挿入されます。また、この計測角度は Parametricos Var. に自動的に渡します。

・長さ

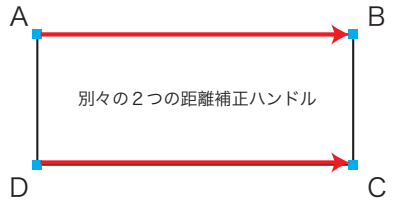
基準拡大率適用後（図 01 の場合は 100%）の長さを測定し、名称を入力します。長さ A など名称はデフォルトで自動的に挿入されます。また、この計測長さは Parametricos Var. に自動的に渡します。

Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.5

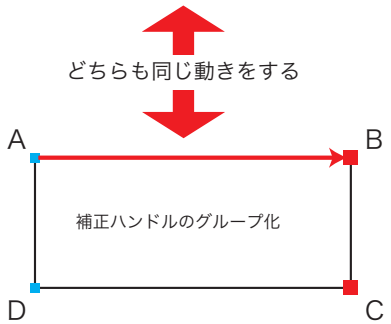


Parametricos Inf.
{図01}

補正ハンドルのグループ化▼



距離補正ツールで、線分 AB、さらに、線分 DC を選択した状態



線分 AB、線分 DC の補正ハンドル情報を、グループ化した状態
※これは、線分 AB に距離補正を掛けた後、頂点 C をオプション選択した場合と全く同じ状態となります。 { 図 02}

プリセットの設定▼ { 図 03}

■Parametricos Info. メニュー
{ 図 01} は、Parametricos Inf. のメニューです。
メニューを表示するには、Parametricos Inf. パレットの右上の▶ボタンをクリックして下さい。

・補正ハンドルのグループ化
別々の補正ハンドルをグループ化できます。
ただし、補正の移動量と方向で同じ場合に有効です。
まず、オブジェクト上の補正ハンドルの複数をシフトキーを押しながら選択し、メニュー／補正ハンドルのグループ化を選択します。※{ 図 02} を参照
※グループ化したオブジェクトにも補正などの更新ができますが、グループを解除すると、設定したハンドル情報は全て失われますのでご注意下さい。

・補正ハンドルのグループ解除
補正ハンドルのグループを解除し、別々の補正ハンドルに戻す。ただし場合により、グループ解除しても元のグループハンドル状態にもどらない場合もあります。

・基本設定
Parametricos および各補正ハンドル情報リストの基本となるのが、このグレーディング設定です。基準点（原点）、角度、基準拡大率などをここから設定します。
また、パレットのグレーディング設定／補正ハンドル情報を直接ダブルクリックしても設定できます。

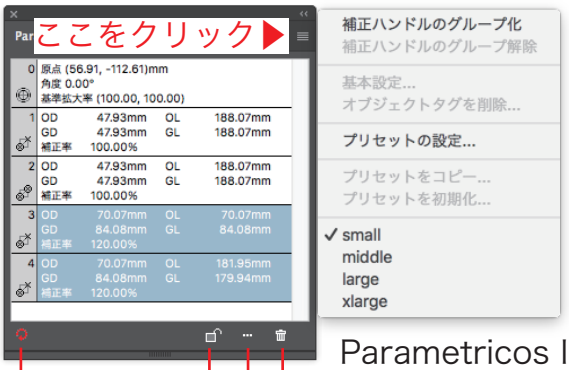
・オブジェクトタグを削除
各補正ハンドル情報リスト全てを削除します。ただし、削除後も新たな基本設定が適用されます。

・プリセットの設定
プリセットの設定をします。※{ 図 03} を参照
プリセットの設定から、サイズなどのプリセット名を作成し、必要に応じて、各プリセット名のチェックをオン・オフします。プリセットの設定の名称は複数保存でき、必要に応じて切り替える事ができます。
各プリセットの情報は、数字で示されたプリセット ID を基準として保持させるので、プリセット名が変わっても情報がなくなる事はありません。

・プリセットをコピー
現在選択中のプリセットをコピーします。

・プリセットを初期化
現在選択中のプリセットの各設定値を初期化します。

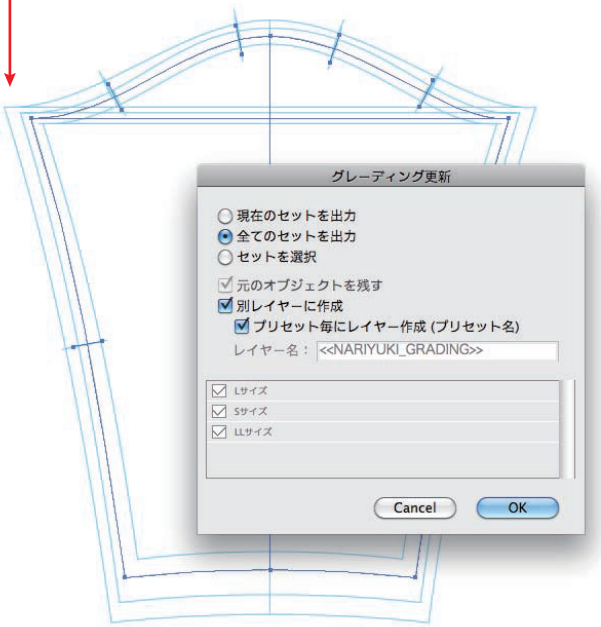
Parametricos Inf. パレットの説明 Vol.6



Parametricos Inf.

{図01}

ロック／ロック解除
ハンドル情報編集
各ハンドル情報の削除
グレーディング更新



更新画面

{図02}

■各ボタンの説明

{ 図 01} は、Parametricos Inf. 下部の各ボタンです。

・ロックボタン

補正ハンドルをロック、ロック解除できます。
ロックを使う場合は、同じ頂点に別の補正を掛けたい場合に、ハンドルが邪魔でかけられない時などに利用します。

・編集

ハンドル情報の編集をおこないます。
目的のハンドル情報リストを選択し、編集ボタンを押します。

・削除

現在選択中の各補正ハンドル情報のみ削除します。

■更新

各補正ハンドル情報を設定した後に、個別のオブジェクトに各設定値を反映する為の更新ボタンです。
ボタンを押すと { 図 02} の更新のダイヤログが出ます。

・現在のセットを出力

こちらを選択すると、現在選択中のセットのみ出力できます。

・全てのセットを出力

別名で保存 ... で設定したセットを全て出力できます。

・セットを選択

こちらを選択すると、{ 図 02} の通り、ダイヤログ下部にある各セットを自由に選択し、出力できます。

・元のオブジェクトを残す

補正を掛けた元のオフジェクトを残します。

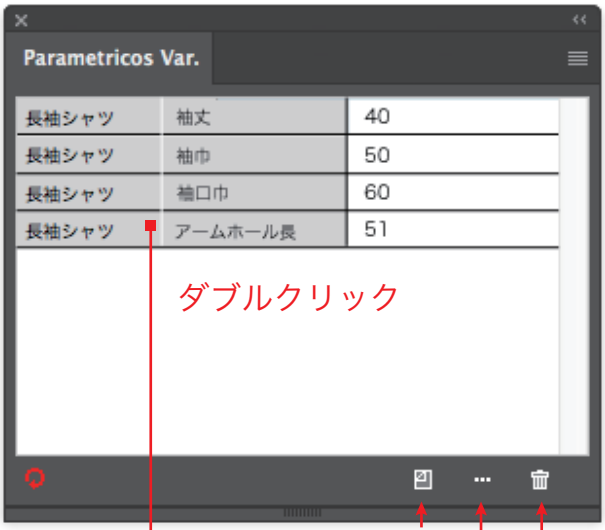
・別レイヤーに作成

こちらをチェックすると、別のレイヤーに更新結果を移す事ができます。レイヤー名の変更は「レイヤー名」に好きなレイヤー名を記入します。

・プリセット毎にレイヤー作成（プリセット名）

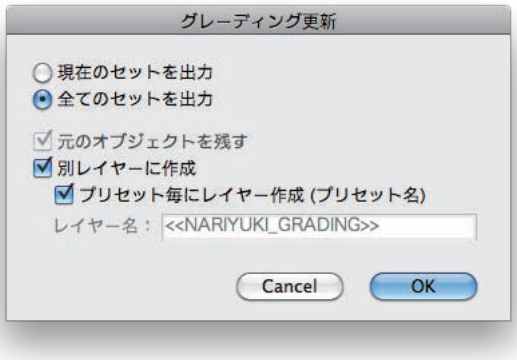
各セット名をレイヤー名にして、出力します。

Parametricos Var. パレットの説明 Vol.1



Parametricos Var.
{図01}

変数設定画面
{図02}



複数更新画面
{図03}

■Parametricos Val. パレットの使い方

{図01}は、Parametricos Var. の画面です。Parametricos Var. とは Parametricos Variable の略で、変数を扱う事ができます。この変数は、Parametricos Inf. 中のハンドル情報の各設定に割り当てる事ができますので、数値や式などを変更する事により、複数のオブジェクトの設定値を一気に変更する事が可能になります。またもう1つの Parametricos Var. の役目に、複数のオブジェクトへの更新書出し機能が備わっております。

・単体オブジェクトの更新書出しは、Parametricos Inf. の更新ボタンから
・複数オブジェクトの更新書出しは、Parametricos Var. の更新ボタンから

■Parametricos Val. パレットの各ボタン

・変数の新規登録
変数の新規登録ができます。

・変数の編集
変数の編集ができます。

・変数の削除
選択した変数リストの削除ができます。

■変数設定画面

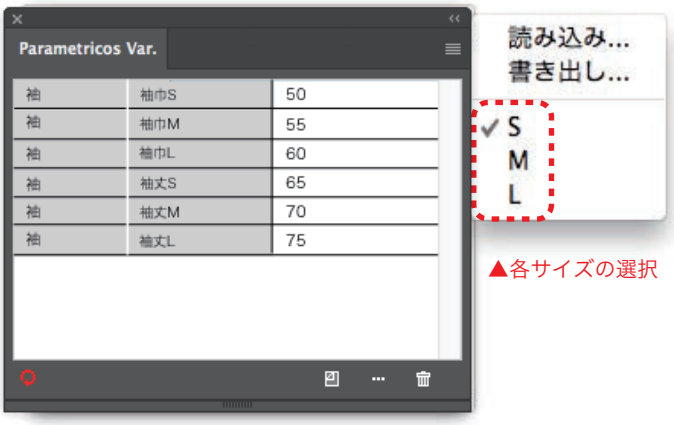
・変数名
変数名を入力できます。

・プライベート変数
個々のオブジェクトのみ使用する場合、チェックすると、そのオブジェクトの Parametricos がオンの時だけ使用できます。

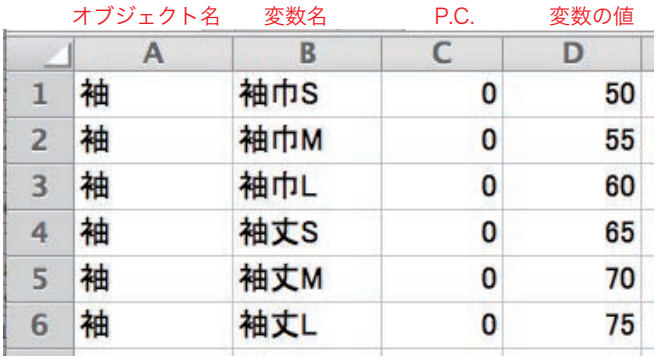
・変数入力項目
{図02}のように、複雑な式を入れる事も可能ですが、単体の数値も使用できます。

■複数更新
※こちらを利用する場合は、イラストレータの選択ツールで目的の複数オブジェクトを選択後、このボタンを押します。

Parametricos Var. パレットの説明 Vol.2



Parametricos Var.
{図01}



CSV をエクセルで開いた画面
{図02}

■Parametricos Val. パレットメニューの使い方
{ 図 01} は、Parametricos Var. のメニュー画面です。メニューは図のように▼マークをクリックする事によって表示する事ができます。

■CSV 読み込み・書き出し機能

・読み込み
CSV ファイルを読み込む事によって、対応したバリアブルの変数の値を 1 度に書き換える事ができます。
「読み込み ...」から、目的の CSV ファイルを選択して下さい。

※CSV の形式は、
文字コード：SHIFT JIS 形式
改行コード：CR+LF
です。

予め書き出し機能を使って出力したファイルをテキストエディターやエクセルから編集する方法をお薦めします。
その際に、オブジェクト名や変数名が必要となりますので、変数の値以外を書き換えないようにして下さい。

・書き出し
現在、表示されているバリアブル情報を、CSV ファイルに書き出す事が出来ます。
出力した CSV ファイルをエクセルで開いたのが、{ 図 02} です。

項目は、「オブジェクト名」、「変数名」、「P.C.」、「変数の値」の順番になっています。
※P.C. とは、プライベートチェックが入っているか (1)、いないか (0) を判別していますので、基本的には変更しないで下さい。

■各サイズの選択
各、サイズ(プリセット)のチェックは、「現在のセット」が何を選択しているのか?を確認または変更する為ですが、※CSV ファイルの読み込み・書き出しには全く関係ありませんので、ご注意下さい。

Parametricos Var. パレットの説明 Vol.3

※Var. パレットで使用できる演算や関数

演算子

算術演算子は以下の４つが利用出来ます。通常の数式同様に、"()"の優先順位が最高で、次に"+", "-"、"*", "/"の順に成ります。

演算子	例	意味
*	M01 * M02	乗算
/	M01 / M02	除算
+	M01 + M02	加算
-	M01 - M02	減算

比較/論理演算子は以下の７つが利用出来ます。
比較演算子と算術演算子を同時に利用する場合は、必ず "()" を用いて、計算順序を明確にして下さい。
例えば、以下のように記載します。

((M01 * M02 + 20) > 100) && (M03 > 50)

演算子	例	意味
>	M01 > M02	＞
<	M01 < M02	＞
>=	M01 >= M02	≧
<=	M01 <= M02	≦
==	M01 == M02	＝
&&	(M01 > 10) && (M01 < 20)	かつ
||	(M01 > 10) || (M01 < 20)	又は

文字列演算子は以下の1つが利用出来ます。

演算子	例	意味
&	"{" & getlines(U20, 2, 1) & "}"	文字列の結合

算術関数

算術関数は、以下の関数が行えます。
結果は全て、倍精度の浮動小数値として計算されますので、例えば

round(M04*10)/10

とした場合は、小数点以下１桁で四捨五入に成ります。

関数	例	意味
sin	sin(3.142/180*45)	正弦関数
cos	cos(3.142/180*45)	余弦関数
tan	tan(3.142/180*10)	正接関数
asin	asin(M02 / M01)	逆正弦関数
acos	acos(M02 / M01)	逆余弦関数
atan	atan(M01)	逆正接関数
sinh	asin(M01)	双曲正弦関数
cosh	acos(M01)	双曲余弦関数
tanh	atan(M02 / M01)	双曲正接関数
round	round(M04*10)/10	四捨五入
trunc	trunc(M04*10)/10	切捨て
sqr	sqr(M04)	２乗
sqrt	sqrt(M04)	平方根
max	max(M01, 32000)	最大値(２項)
min	min(M01, 0)	最小値(２項)
pow	pow(M01, 2)	累乗(２項)
abs	abs(M01)	絶対値

文字関数

文字列関数は、以下の関数が行えます。

関数	意味
strpos(文字列, 検索文字列)	指定された文字列の位置を特定します。
substr(文字列, 開始位置, 文字数)	指定された範囲の文字列を取り出します。
strcmp(文字列１, 文字列２)	文字列の比較を行います。 文字列１ ＜ 文字列２ の時は、-1 文字列１ ＝ 文字列２ の時は、0 文字列１ ＞ 文字列２ の時は、1 と成ります。
length(文字列) 又は strlen (文字列)	指定された文字列の長さを返します。 どちらも同じ意味です。
countlines(文字列)	文字列の行数をカウントします。 行の区切りは、"\r" 又は、CR(0x0D) に対応しています。 例 show(countlines(U20))
getlines(文字列, 開始行, 行数)	文字列を開始行目 (1 ～) から、行数分取得します。 例 show("{" & getlines(U20, 2, 1) & "}")

マクロ

実行時にグレーディング情報等の環境変数に置換されます。

マクロ	意味
%%LENGTH%%	長さ補正ハンドル内で利用します。現在のパスの長さに置換されます。 (主に内部使用です)
%%DISTANCE%%	距離補正ハンドル内で利用します。現在の線分の距離に置換されます。(主に内部使用です)
%%GR_SCALE_H%%	現在の基準拡大率 (水平方向) に置換されます。
%%GR_SCALE_V%%	現在の基準拡大率 (垂直方向) に置換されます。
%%GR_ORIGIN_H%%	現在のグレーディングポイント (X 座標) に置換されます。
%%GR_ORIGIN_V%%	現在のグレーディングポイント (Y 座標) に置換されます。
%%GR_ANGLE%%	現在のグレーディング角度に置換されます。
%%PRESET_IDX%%	現在のプリセット番号 (1 ～ 20) に置換されます。
%%PRESET_NAME%%	現在のプリセットのタイトルに置換されます。

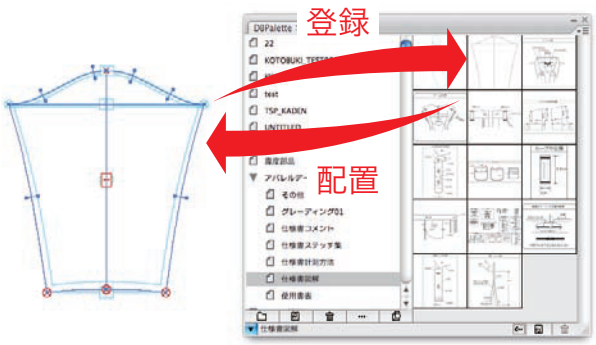
制御文

IF 文が使えます。

制御文	意味
if(条件式 1) { 式 1} else if (条件式 2) { 式 2} else if (条件式 3) { 式 3} else if (条件式 4) { 式 4} ... else { 式 n}	条件式 1 が " 真 " の場合は、{ 式 1} を実行します。 if 文の条件外で、 条件式 2 が " 真 " の場合は、{ 式 2} 内を実行します。 条件式 3 が " 真 " の場合は、{ 式 3} 内を実行します。 ... 上記条件の何れにも当てはまらない場合は、{ 式 n} が実行されます。 else 以降は省略可能です。 又、else は、１つしか設定出来ないですが、else if は、いくつでも記載可能です。

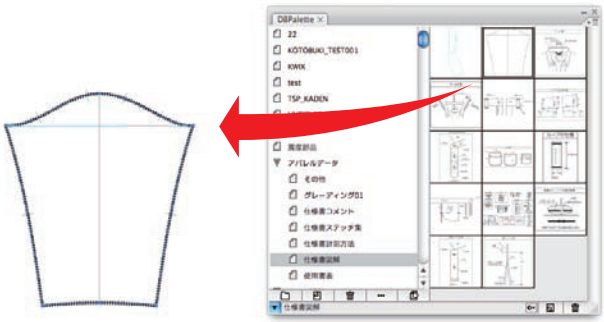
例
if (%%PRESET_IDX%% == 1) {50} else if (%%PRESET_IDX%% == 2) {100} else {150}

DB Palette との連携（ハンドル情報・データベースの構築）



DB Palette への登録
{図01}

オプションキーを押しながら
目的のオブジェクトまでドラッグ



DB Palette と連携した
ハンドル情報のコピー
{図02}

■DB Palette との連携

{ 図 01} は、Parametricos で設定したオブジェクトを DB Palette に登録した画面です。

DB Palette に登録されたオブジェクトは、通常は、他の設定されていないオブジェクトと同様に登録 & 配置して使用できます。
その際、ハンドル設定や、更新などを表示したい場合には、イラストレータの選択ツールにて選択状態の時に、何らかの Parametricos をオンにすれば、各ハンドルが出ます。

■設定情報のコピー（DB Palette 連携）

{ 図 02} は、Parametricos で設定したオブジェクトを DB Palette に登録し、その後、各ハンドル情報をコピー（移植）する方法を図解しています。

DB Palette に登録されたハンドル情報を保持したオブジェクトを、別のオブジェクトまでドラッグします。
その際に、オプションキーを押したままドラッグすると、{ 図 02} のように相手のオブジェクトが黒く反応しますので、その状態でドラッグすると、元のハンドル情報が、目的のオブジェクトにコピーされます。
確認するには、イラストレータの選択ツールにて選択状態の時に、何らかの Parametricos をオンにすれば、各設定のハンドルが出ます。

ただし、元のオブジェクトと、ハンドル情報をコピーしたいオブジェクトの頂点の数が合っている事が条件となります。
もし、頂点が違い、各補正ハンドルがずれた場合には、Parametricos で直接ハンドルの修正をします。

■ Parametricos に関するお問い合せ先

※お問い合せは必ず FAX or E-mail でお願い致します。

(株)ベビーユニバース Parametricos係

FAX: 0466-55-3001

E-mail: info@baby-universe.co.jp

■最新情報は下記ホームページへ

http://www.baby-universe.co.jp